

CASBEE® 新築[簡易版]

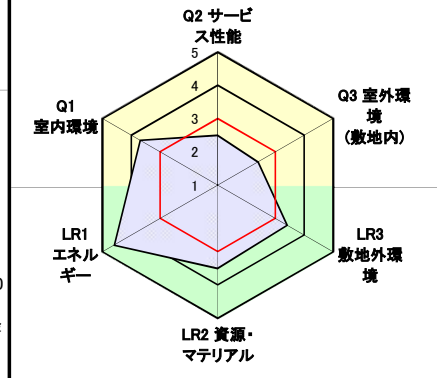
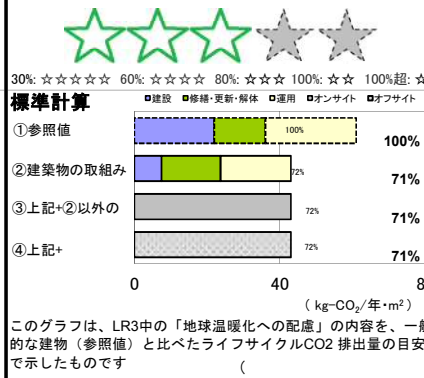
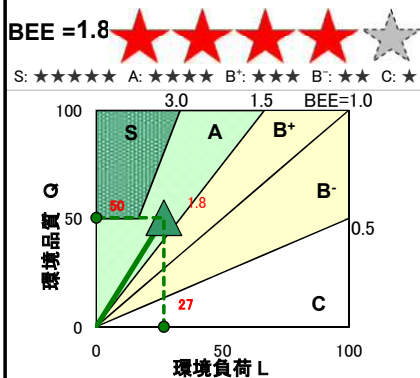
評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

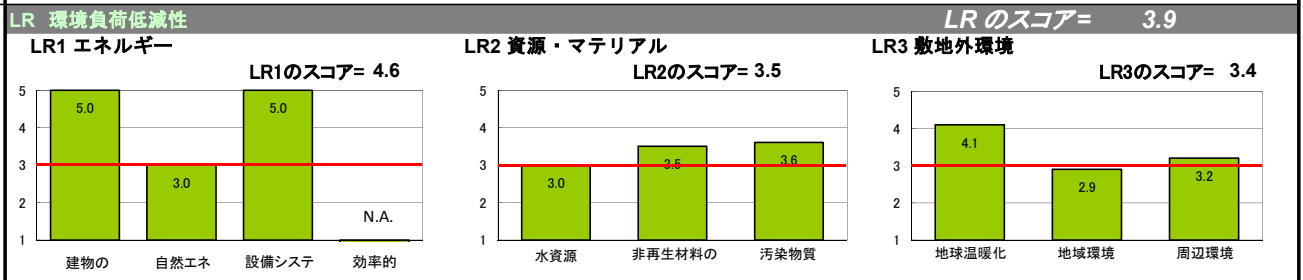
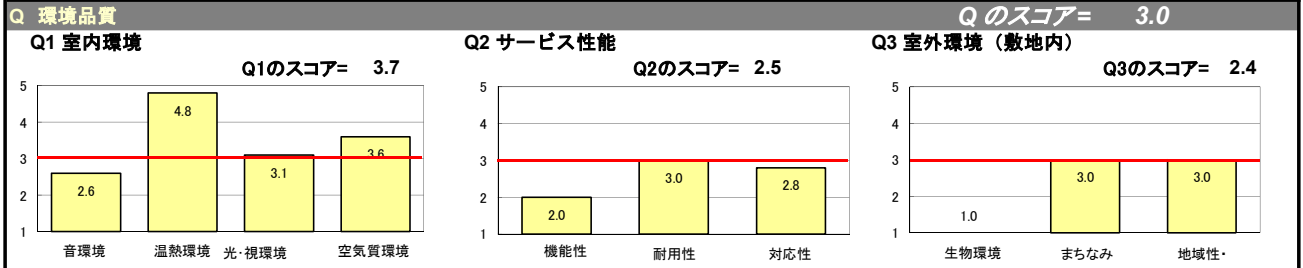
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	福岡県公営住宅吉田団地第1工区	階数	地上7F
建設地	北九州市小倉南区上吉田3-21	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域	平均居住人員	168人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年10月 予定	評価の実施日	2014年7月30日
敷地面積	2,392㎡	作成者	鷹 邦昭
建築面積	537㎡	確認日	
延床面積	2,782㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) 2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート) 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
本建物は平成24年3月、県営住宅吉田団地再生計画検討の結果、モデルとして第1工区が指定され、周辺地域との調和を踏まえ、入居者の負担を出来るだけ抑えつつ、最適かつ効率的な方法で建替を行うものです		
Q1 室内環境 温熱環境の省エネルギー対策等級4を確保 内装材等にF☆☆☆☆の建材を採用	Q2 サービス性能 高齢者等配慮対策等級3の確保 劣化等級3の確保による躯体の長寿命化	Q3 室外環境(敷地内) 空地率80%以上を確保。 既存緑化擁壁を整備し、常緑地覆植物、低木で覆い、まちなみ・景観への配慮。 高層建築の威圧感緩和対策として、上層部の仕上げは明るく、廊下手摺の一部を金属として軽く見せる工夫
LR1 エネルギー 潜熱回収型瞬間式給湯器採用	LR2 資源・マテリアル リサイクル資材を3品目以上用いている 仕上げ材にF☆☆☆☆の建材を使用	LR3 敷地外環境 躯体の耐久性向上によるLCCO ₂ の削減効果

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される